News Release

2024 年 11 月 22 日

三菱商事株式会社

株式会社 INPEX

ＪＸ石油開発株式会社

三井物産株式会社

エルエヌジージャパン株式会社

独立行政法人エネルギー・金属鉱物資源機構

インドネシア共和国　タングーLNG プロジェクト拡張開発計画の最終投資決定について

インドネシア共和国（以下、「同国」）西パプア州におけるタングーLNG プロジェクト（以下、「同プロジェクト」）の参加各社は、オペレーターである bp と推進する同プロジェクトにおいて、総額 70 億米ドルとなるタングーLNG 拡張開発計画（英名：Tangguh Ubadari, CCUS, Compression（UCC）Project。以下、「同計画」）の最終投資決定（FID）を実施いたしました。

LNG の重要性が高まるエネルギートランジションの時代において、同計画は天然ガス生産量を約 3 兆立方フィート増加させることを目指すものであり、本邦含めたアジア諸国に対するエネルギーの安定供給への寄与が期待されております。

同計画は、既存の同プロジェクト施設を活用した上で、ウバダリガス田の開発、CCUS (注) およびコンプレッサー設置によるガス送圧能力の増強で構成されており、2028 年以降、順次生産・稼働を開始する予定です。同計画に含まれる CCUS は、同国初の大規模なものであり、今後の同国における CCUS 技術の発展に大きく貢献することが期待されます。

（注）Carbon capture, utilization and storage の略。排出される CO_2 の回収、利用、貯留による温室効果ガス排出量の削減を図る技術。同計画では回収された CO_2 を用いて EGR (Enhanced Gas Recovery（天然ガス増産）)を行う。

参考情報：プロジェクト概要

現在年間約 1,140 万トンの LNG 生産能力を有するタングーLNG 基地は、同国西パプア州ビントゥニ湾に位置し、bp がオペレーターを担うコンソーシアムが、SKK Migas（インドネシア石油ガス上流事業監督執行機関）との生産分与契約に基づき同プロジェクトの操業を請け負っております。同プロジェクトにおける権益構成は以下の通りです。

ＪＸ石油開発株式会社 総務部 広報・渉外グループ　〒100-8163 東京都千代田区大手町一丁目１番２号　TEL:03-6257-6000

会社名 (出資企業・独立行政法人)	権益比率
bp	40.22%
MI Berau B.V. (三菱商事株式会社、株式会社 INPEX)	16.30%
CNOOC Muturi Limited （中国海洋石油総公司（CNOOC））	13.90%
日石ベラウ石油開発株式会社 （ＪＸ石油開発株式会社、独立行政法人エネルギー・金属鉱物資源機構）	12.23%
ケージーベラウ石油開発株式会社 （独立行政法人エネルギー・金属鉱物資源機構、三井物産株式会社、ＪＸ石油開発株式会社、三菱商事株式会社、株式会社 INPEX）	8.56%
Indonesia Natural Gas Resources Muturi Inc （エルエヌジージャパン株式会社(住友商事株式会社と双日株式会社の折半出資会社)）	7.35%
ケージーウィリアガール石油開発株式会社 （三井物産株式会社）	1.44%

＜同プロジェクト概観＞

ＪＸ石油開発株式会社 総務部 広報・渉外グループ　〒100-8163 東京都千代田区大手町一丁目１番２号　TEL:03-6257-6000

＜案件地図＞

2025年1月、JX石油開発は
ENEOS Xplora へ
Explore the EARTH and Create Value

ＪＸ石油開発株式会社 総務部 広報・渉外グループ　〒100-8163 東京都千代田区大手町一丁目１番２号　TEL:03-6257-6000